

「子どもたちの農業体験学習推進シンポジウム」へのご案内

J Aの「食農教育」は、農業体験を通じて、農産物がいのちを育み、成長していく過程において、食の大切さ、食を支える農の役割、自らのくらしと社会の営みとの関わり、そして自らの健康の尊さの理解を広げる運動として、全国のJ Aグループとして取り組んでいるところです。

さて、子どもたちの農業体験学習をさらに進めていくために、この度各地の事例をもとに、農業体験を継続して取り組むためのポイントや農業体験学習が寄与する子ども達のライフ・スタイルへの影響等について調査報告を取りまとめました。

つきましては、下記の通りシンポジウムを開催し、今後の農業体験学習の推進について広く議論を致したいと思っております。教育関係各位をはじめ多くの皆さんにお越し頂き、「農業」の可能性と「農業体験」から学ぶ子どもたちの成長について考えて頂く契機となれば幸いです。



日時:平成20年3月19日(水) 13時～16時30分
場所:J Aホール 東京都千代田区大手町1-8-3(J Aビル)
主催:全国農業協同組合中央会・全国農協青年組織協議会
参加対象:一般市民・教育関係者・J A関係者・農業生産者等(約300名)
日程(予定):13:00 開会

13:00～14:00 基調報告「教育の観点から提言する農業体験の効果」



上智大学 総合人間科学部 教授
奈須 正裕 氏

主な経歴:東京学芸大学大学院修士課程修了、東京大学大学院博士課程修了、博士(教育学) 神奈川大学経営学部助教授、国立教育研究所教育方法研究室長などを経て、現職

14:00～14:40 研究報告「農業体験学習全国定着化推進ワーキングの研究報告」



農業ジャーナリスト
榊田みどり 氏

主な経歴:87年より生活クラブ生協で情報誌記者、90年よりフリーの農業ジャーナリストとして活躍。農政ジャーナリストの会会員。著書に「雪印100株運動～起業の原点・企業の責任～」(共著・創森社)など。

15:00～16:30 パネルディスカッション「子どもたちの農業体験を進めるために何をするべきか」

パネリスト

J A山形おきたま青年部副委員長 **高橋 勝 氏**
J A菊池青壮年部前委員長 **霍田 崇 氏**
徳島県阿波市立市場小学校教諭 **藤本 勇二 氏**
上智大学 総合人間科学部 教授 **奈須 正裕 氏**

コーディネーター

農業ジャーナリスト **榊田みどり 氏**

申し込み方法:ファックス、ハガキまたは事務局メールアドレスの何れかの方法で**3月12日(水)**迄に下記事務局まで申し込み下さい(参加費無料)。参加証は送付しませんので、申し込み頂いた時点で参加受付と致します。ただし、定員300名になり次第締め切りといたします。

ご来場の皆さんにもれなく「発芽玄米ピーフン(国産うるち米使用)」をプレゼント!さらに、抽選で30名様に全国各地のお米づくりの名人がつくった「特選米」2kgを贈呈します!



〒101-0047 東京都千代田区内神田1-1-12 コープビル11F
(株)全農ビジネスサポート「3.19シンポジウム事務局」

FAX:03-3296-8929 Email:sasaki-hid@z-bs.co.jp

■お問い合わせ

(株)全農ビジネスサポート 広告企画部(平日11:00～17:00)

TEL:03-3296-8676 担当:田中・室本

「子どもたちの農業体験学習推進シンポジウム」FAX用申込書

フリガナ
お名前

ご住所 〒

希望参加人数

(男・女)

人

個人情報についてはイベント以外の目的には一切使用いたしません。